

はまます日記

第4号
発行日 21/4/10
発行元 NPO法人 ezorock
浜益バス
チーム

お久しぶりです！ 昨年なかなか手を付けられていなかったはまます日記ですが、2020年度の浜益の活動をまとめてみました。良ければ、目を通してみてください。

2020年度活動一覧

- 4月 ベース整備
- 5月 ご縁米プロジェクト
- 6月 浜益いただきナイト
きむろ果樹園のお手伝い (7月末)
- 7月 増毛山道
まるせま自然学校親子キャンプ
- 8月 アキとちなげゴアメンバー!
- 9月 森林整備
稲刈り体験
- 10月 ゆーたが地域おこし協力隊に
EzDOME設置
浜益アンテナショップお手伝い (11月)
- 11月 浜益ウォークラリー準備
きむろ果樹園(収穫作業)
カフegull トライアル
- 12月 浜益バス改築完了
壁塗り(3月)
- 1月 雪板体験
- 2月 イチイツアー
- 3月 おためし協力隊

ご縁米プロジェクト 5月

新型コロナウイルスの影響により、人とつながることが難しくなっている状況下で、何かできることはないかと、浜益の方々に協力してもらい新たな繋がりやを創出するため1トンの浜益米を500人の若者に届ける「浜益ご縁米プロジェクト」を実施しました。その後、みんなが浜益米を食べるオンラインイベント(浜益いただきまますナイト)を実施。浜益の人たちとご縁米プロジェクト参加者との交流の場になりました。

浜益米を受け取った若者からは、「浜益に行ってみたら」という声をたくさん聞くことができました。このご縁米参加者がコアメンバーとして今後浜益に関わってこれています。



道外出身で、このプロジェクトを知るまで浜益という地を知らなかった。もらったお米はおいしくて、この企画を通して初めて浜益の魅力を肌で感じた。浜益のことをもっと知りたくらいだし、今後何らかの形で思い届けたいなと思います。

1tの浜益米

みんなに手配してもらい 2kgに分けてつめる!

ゆーたの協力につめて。 西送! 500人のモノへ



果樹園プログラム 6月5-7日

6月中旬から7月下旬まで、きむろ果樹園のりんごの摘果・さくらんぼの収穫作業に参加しました。初めての作業で慣れないことばかりでしたが、木村さんや浜益の先輩方いろいろなことを教えて頂ながら作業しました。朝早くからの作業は大変でしたが、鳥の声を聞いたり、風を感じたりしながら過ごす1日はとても有意義な時間でした。また、この果樹園プログラムをきっかけにゆーた(井上優太)が地域おこし協力隊になりました。

11月にはりんごの収穫作業に少し参加しました。自分たちで摘果したりんごが成っているところを見ることができ、感慨深かったです。

浜益ウォークラリー 11月

11月14日に札幌の子どもたち向けに浜益のまち全体が舞台のウォークラリーを実施する予定でした。ウォークラリーは3年前に行われたものと同様で、地図を見ながら子ども達自身が行きたいところを決め、地図に落とされたチェックポイントでミッションをクリアしていく、という設定です。具体的なチェックポイントとしては、豊隆寺や漁港、ふじみやさんなどを予定していました。

新型コロナウイルスが再び感染拡大してしまっただけに、前々日になっての実施中止が決定してしまいました。が、また落ちついてきたら、必ず実施したい企画です。



札幌からでこれまで果樹に触れる機会がなかった中で、何をするにも新鮮で貴重な機会だと感じました。作業は、斜めにある場所での脚立を安定する位置に立てることと、難しい部分などもありました。高所での果実の剪定は私の身長が役立つ場面もあり、嬉しいことたくさんありました。

浜益中学校のバスと一緒に見学に行きました。

中学校で浜益の歴史を見ました!

こんなマップとミッションカードを作成しました。

休みの12月

9月の収穫

秋のりんごの収穫に行きました!



EZROCK 10月

EZROCKという組立て式のドーム型カプセルが、10月上旬に浜益にやってきました。4基あるEZROCKはカプセルの前やコロシアムセンターまわりの前に設置され、その白くて丸いフォルムを浜益のまちにそび立たせました。特にまわりの前のドームは、秋に行われたアテナショップ子どもたちと遊ぶスペースとして利用しました。



おためし地域おこし協力隊 3月

3月上旬に浜益を満喫する2泊3日のおためしツアーを実施しました。6名の参加者が浜益を訪れました。ホタテの水揚げやニシンの網外し、まむら果樹園での菓定のお手伝いなど、浜益のくらしに触れ、ルッツやニシン・ホタテ・米など浜益のおいしいものもたくさん頂きました。最後には樹齢一五〇年のイチイの木を見に行き、浜益の魅力がもっとつまった3日間でした。浜益の方とたくさん交流でき、また浜益にきたい！という参加者の声が多く聞こえました。

- スケジュール
- 1日目
 - あいそど厚田見学
 - 浜益へ!
 - 浜益の説明と美味しいルッツをいただきます
 - 2日目
 - ホタテ見学
 - ニシンの網外し
 - まむら果樹園で菓定体験
 - くらしの教科書WS
 - 3日目
 - アテナショップでイチイへ
 - 雪板体験
 - まむらへ

ベイスの改修 11月

11月中旬に、私たちの活動拠点であり、地域おこし協力隊のゆうたが住む浜益ベイスが改築されました。今回は主に水回りの工事で行われました。洗面所の増築などが行われていない状態だったので、12月から壁に漆喰を塗る作業も始め、壁も天井も白くきれいに生まれ変わりました。



Before



After!!



いつもお世話になっている浜益支所の柿崎さんと小栗さんにインタビュー!!

- Q1. 2020年度で一番印象に残ったことは?
- Q2. 2021年度にやってみたいことは?



柿崎さん

- ① たくさんの思い出がありましたが、ezorockのけん引役の皆さんとやりたいことを話し、川の岸で一緒に寝たことです。その他にも関わらせているスタッフの皆さんが成長していくのを見るのが嬉しいですね!僕らまちの職員はフォローしかできませんが、そんな皆さんと地域の人との輪が広がっていくのはやりやいと感じます。
- ② イチイの木は来年は工事で行けはいいので、もう1つの神保町本庁舎に会うプログラムはぜひやってほしいです。倍以上に狭い道のりですが、達成感は何倍?是非実現させて下さい。



小栗さん

- ① 浜益ご縁米プロジェクトとさせていただきます。ここから生まれたご縁で、実際に浜益へ来てくれた方から、とても嬉しかったです。
- ② 地域の子どもたちと、浜益のちからとコラボは魅力を探るイベントを企画したいです。ふりここと自慢できるような!

そもそも浜益ベースって?

浜益ベースとは、石狩市浜益区・浜益地区にezorockが借りている拠点です。ここに宿泊滞在しはから活動拠点として利用。浜益神社の下にあり、ベースからは海が見えます。浜益外に住む学生や社会人が訪れ、浜益のくらしを体験しながら、農作業のお手伝いやお祭りに参加したり...浜益のあたり前にある魅力にふれる機会をつくっています。



今までの活動は詳しくはこちら!
1994レシズ WEB記事
1994レシズ インスタ



活動運営メンバーの紹介 (コアスタッフ)



最後に...ごあいさつ

新型コロナウイルスの影響により、なかなか思うように活動とつながることはできませんでしたが、2021年度はもっと多くの人に浜益の魅力と伝え、ファンを増やすような活動をたくさん展開していきたいです。こちらは浜益の人と浜益のファンがつよがるオープンネットになります。よければ、ご登録ください。オープンネット →



次回もお楽しみに!

お2人以外にもたくさんの浜益の方々に2020年度もお世話になりました。2021年度もよろしくお願ひします。